

みよしSDGsアワード



「みよしSDGsアワード」は、三芳町が持続可能なまちづくりを進めていく中で、「みよしSDGs宣言」に応募いただいた企業・団体の中から、特に優れた取り組みを行う団体・企業を表彰するものです。SDGsの取組の規範となり、大きな推進力となることを期待します。

令和6年度 受賞団体

【飯能信用金庫 三芳支店】

みよしSDGs宣言登録制度が始まった当初から宣言をしている団体であり、他企業と連携しながら新しい取り組みを行っている点、町と連携し、町への情報提供や各企業と町を繋いでいる等の点が評価されました。

【受賞を受けて】

この度は、みよしSDGsアワードの受賞という大変光栄な賞をいただき誠にありがとうございます。

我々、飯能信用金庫は「つながり続ける、挑み続ける、未来を彩る笑顔のために」というパーパスを掲げ、地域社会の持続的な発展に貢献することを使命としております。

今回の受賞は、当金庫が地域社会の皆様と共に歩み、SDGsの達成に向けて取り組んできた活動を評価いただいたものと受け止めております。

特に、中小企業や地域の皆様への支援や地域課題の解決に向けた様々な取り組みは、SDGsの達成に不可欠なものと考えております。

我々、飯能信用金庫は、これからも地域社会の一員として、皆様とともに「未来を彩る笑顔」を創造していくために、より一層努力を重ねてまいります。

本日は、誠にありがとうございました。

飯能信用金庫 三芳支店
支店長 宮田 佳律

【株式会社MIYOSHI】

小学生に防犯カメラの製造体験をしてもらう、小中学生プレゼン大会の審査委員を務める等、積極的に地域や子どもと関わろうという様子が見られる点、また UNHCR への寄付等、世界を見ながら活動している点が評価されました。

【受賞を受けて】

この度は「みよしSDGsアワード」を受賞させて頂き、心より御礼申し上げます。

「人のために火をともしれば我がまへあきらかなるがごとし」を経営理念に、「人のために火をともし」を行動指針に、全人類の幸福と平和を目指します。

数値目標の最上段を「寄付」にし、社会課題解決を進めております。

平和・教育・環境・福祉・文化・スポーツの6ジャンルへ、海外では難民支援やアフガニスタンへの教育や医療支援、国内では、中学から大学までの教育支援、子ども食堂やバリアフリー支援を、今後は、アフリカに学校や女性医療施設の建設を行います。

企業における平和貢献、社会貢献とは何か。何のために儲けるのか。

これからも日々学び、挑戦します。

株式会社MIYOSHI
代表取締役社長 佐藤 英吉